

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	村づくり交付金事業				開始年度	平成17年度	
基本目標	快適でおいしいのある生活文化環境の整備				終了年度	平成22年度	
担当課(局)	産業振興課	担当係	農村整備係	記入者	長友和也	評価者	長町信幸
21年度決算	80,605	千円	22年度予算	87,935	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	12,218 千円		22年度人件費	12,381 千円		事業従事者数	1.70 人 1.70 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	農村環境保全、信頼される農産物の生産
事業の内容	農道整備、用排水路整備、四季彩のむら整備

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 農道整備	農作業に効率的で安全な農道整備を行う。
	2 用排水路整備	耕作物の生育等に効果のある用排水路の整備を行う。
	3 四季彩のむら整備	独自性のある四季彩のむらに適合した整備を行う。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 農道整備	1箇所以上の農道整備を行う。
	2 四季彩のむら整備	1工種以上の整備を行う。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	農道整備	目標値	500	200	400
		実績値	500	200	
		達成率	100.0%	100.0%	
	用排水路整備	目標値	500	200	0
		実績値	500	200	
		達成率	100.0%	100.0%	
	四季彩のむら整備	目標値	1	1	2
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
活動指標	農道整備	目標値	2	1	1
		実績値	2	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	四季彩のむら整備	目標値	2	1	2
		実績値	2	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値	1	1	0
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	町全体の農業施設整備であり町が行うべきである、また、町でないと採択されない事業である。他団体への委託はできない、また、事業廃止については今後の高鍋町の農業活動に大きな影響を与える。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	農産物生産、農村生活基盤の向上に大いに役立っている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	農産物生産、農村生活基盤の向上に大いに役立っている。経費については工法再検討により削減の余地は残っていると考える。事業計画の見直しにより経費削減の余地はあると考える。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	完成後の施設の管理については住民の方に依頼できる。

事務事業名	村づくり交付金事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>本町農村部の環境整備には必要不可欠で、また、国県補助率も高く町独自の負担も少なく済む。</p> <p>本事業期間が今年度までとなり、地域用件の関係で工事の繰越は考えられるが、年度事業としては完了年となります。しかしながら、町内の農道等には未整備の施設が多く残っており、今後は村づくり交付金事業と同様な補助率の良い事業を選択し実施していくことを検討していく必要があります。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
				現状維持				
				縮小				
				廃止	○			
	廃止	縮小	現状維持	拡充	コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	廃止	◎多大な事業費を掛けた割には効果がない。ただ単に事業費の消化が伺える。
	コスト	廃止	